



自治体SDGsモデル事業



人づくり・情報プラットフォームを活用した まちづくりイノベーション創出事業

栃木県 宇都宮市



1 宇都宮市の課題

まちづくりにおける課題

第6次宇都宮市総合計画

「輝く人の和 つながるまちの環 魅力と夢の輪 うつのみや」

重点課題

- i 次代を築く人づくり
- ii 健康づくりと福祉の充実
- iii 安全・安心な地域づくり
- iv 都市の個性づくりの更なる強化と魅力の発信
- v 地域経済を支える産業の活性化と環境調和型社会の構築
- vi 骨格の強い都市の形成

宇都宮市が目指す姿



SDGsへの貢献に向けた課題

◇ 経済，社会，環境の各側面の取組に「つながり」と「循環」を創出

課題 宇都宮市全体でのSDGsの理解促進と市民・事業者とのパートナーシップの強化

- 市民・事業者・行政が同じ視点，理解のもと目標に向かって協力・連携する基盤づくり

課題 「ヒトの“うごき”」とそれを取りまくモノ・情報の交わりの活性化

- 消費や社会活動，移動，学習といった都市の活性化の源となる様々な活動を生み出す

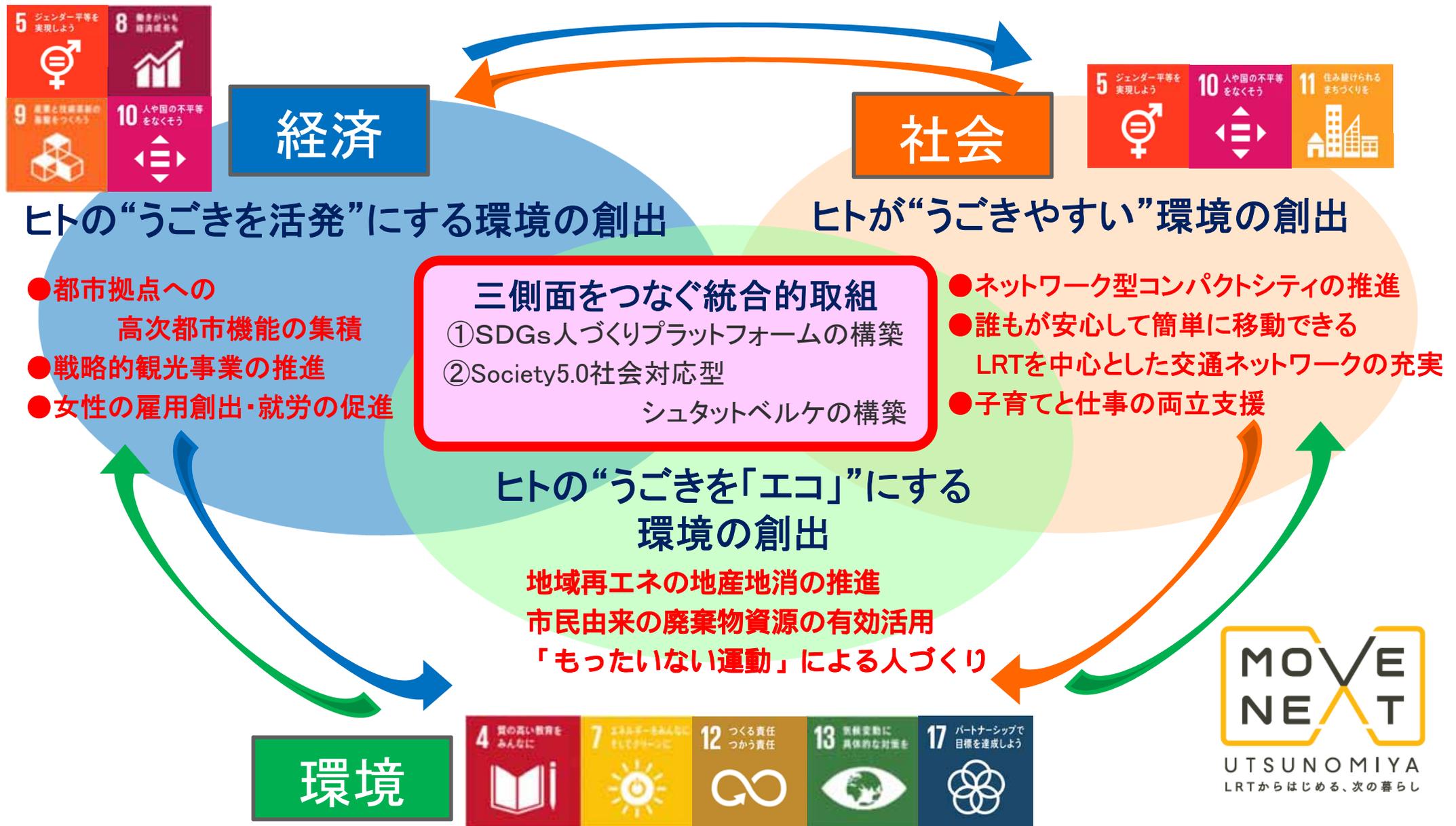


本市の地域資源を
活用し
課題解決に取り組む！



2 モデル事業の概要

◇持続的に発展し続けられる宇都宮市を目指し、市民や事業者、行政に新しい“うごき”を創出



3 SDGs人づくりプラットフォームの構築 (1) 取組概要

- 市内の多様なステークホルダーにより構成された「宇都宮市もったいない運動市民会議」をベースとした「(仮称)SDGs人づくりプラットフォーム」を創設
- SDGsを市民運動として広めていくための母体として、SDGs推進の全体マネジメントと具体的な普及啓発を実施

【主な活動】

SDGsをメインテーマとしたシンポジウムの開催



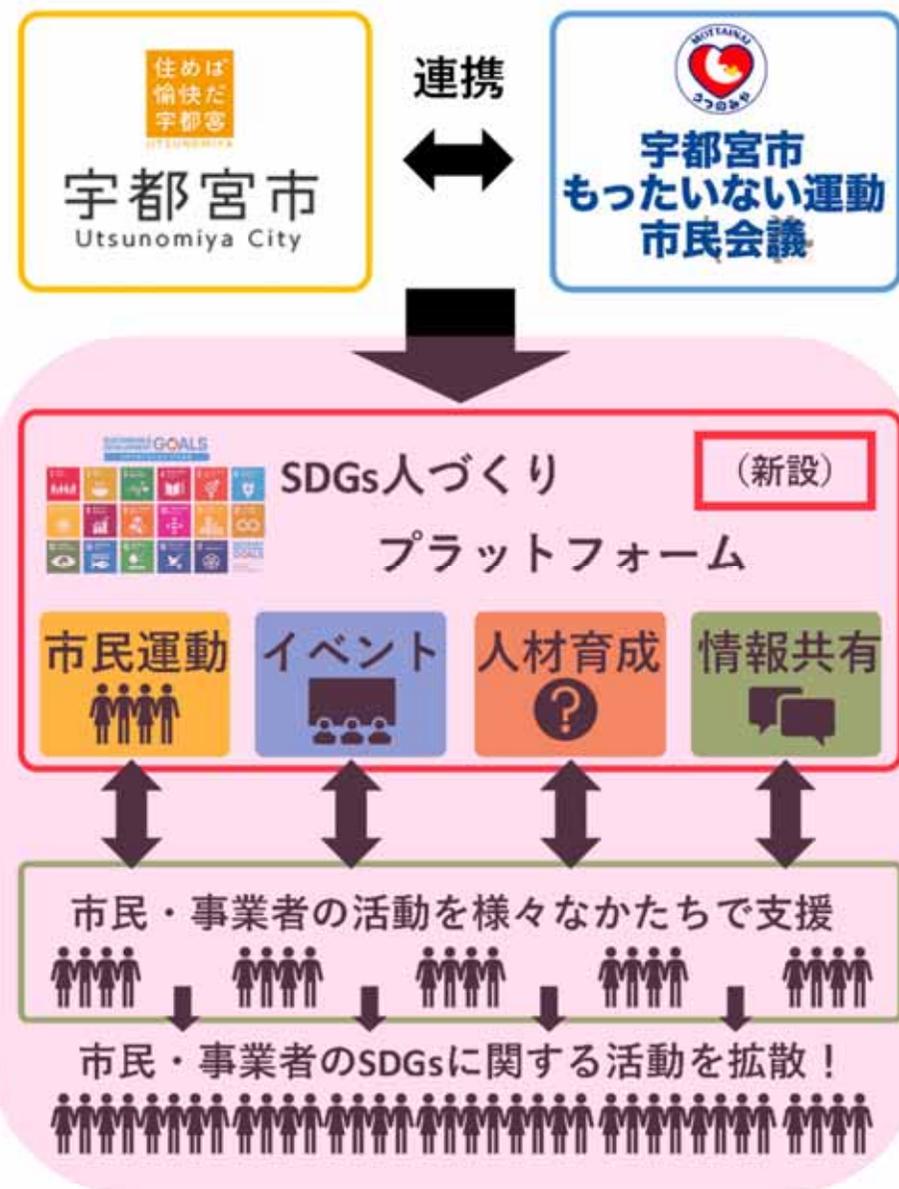
イベントへの参画



勉強会の開催



環境配慮実践行動の促進



3 SDGs人づくりプラットフォームの構築 (2) 相乗効果

【経済⇒社会】

- ・SDGsの視点を取り入れた事業活動を行う市内企業の増加

17 パートナーシップで
目標を達成しよう



【社会⇒環境】

- ・SDGsの視点を持った持続可能な行動ができる市民の増加

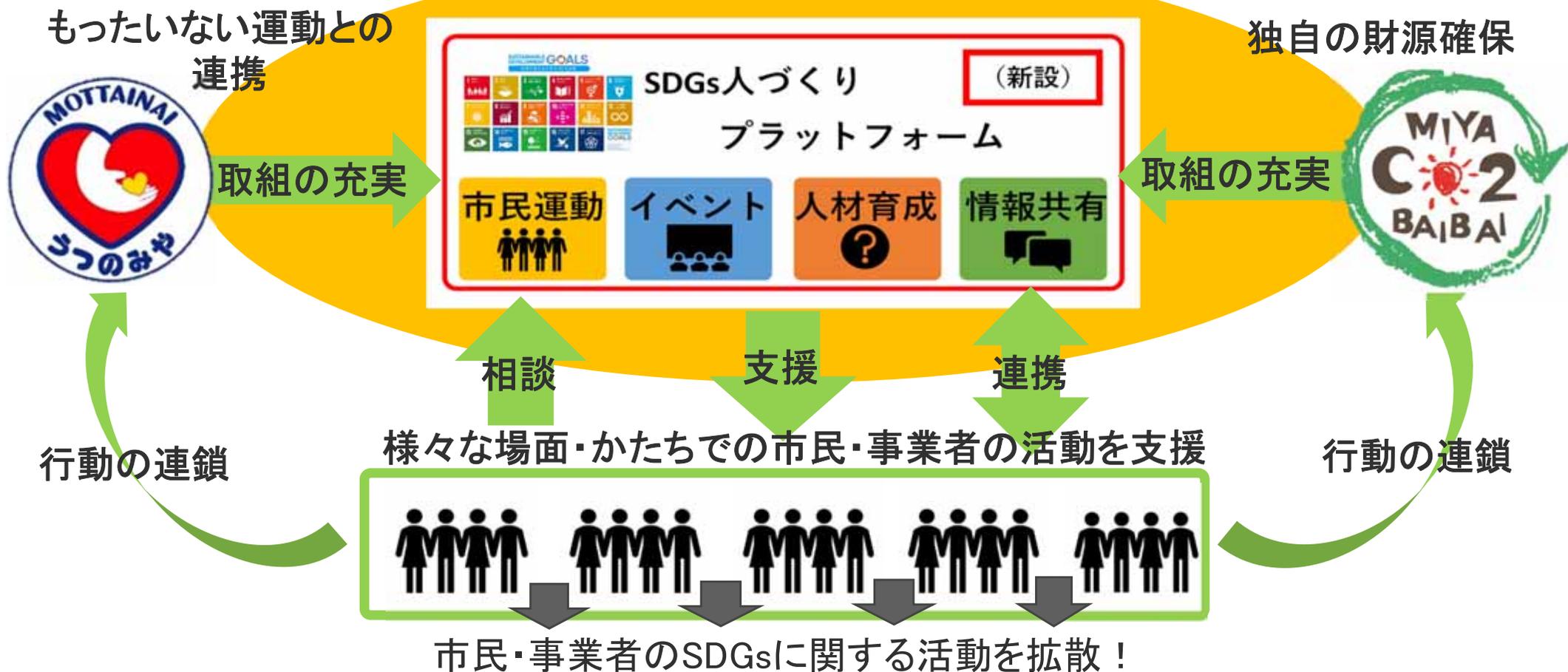
4 質の高い教育を
みんなに



新たに創出される価値

- ・市内企業による社会貢献の創出
- ・市民における環境配慮行動の拡大

3 SDGs人づくりプラットフォームの構築 (3) 自律的好循環

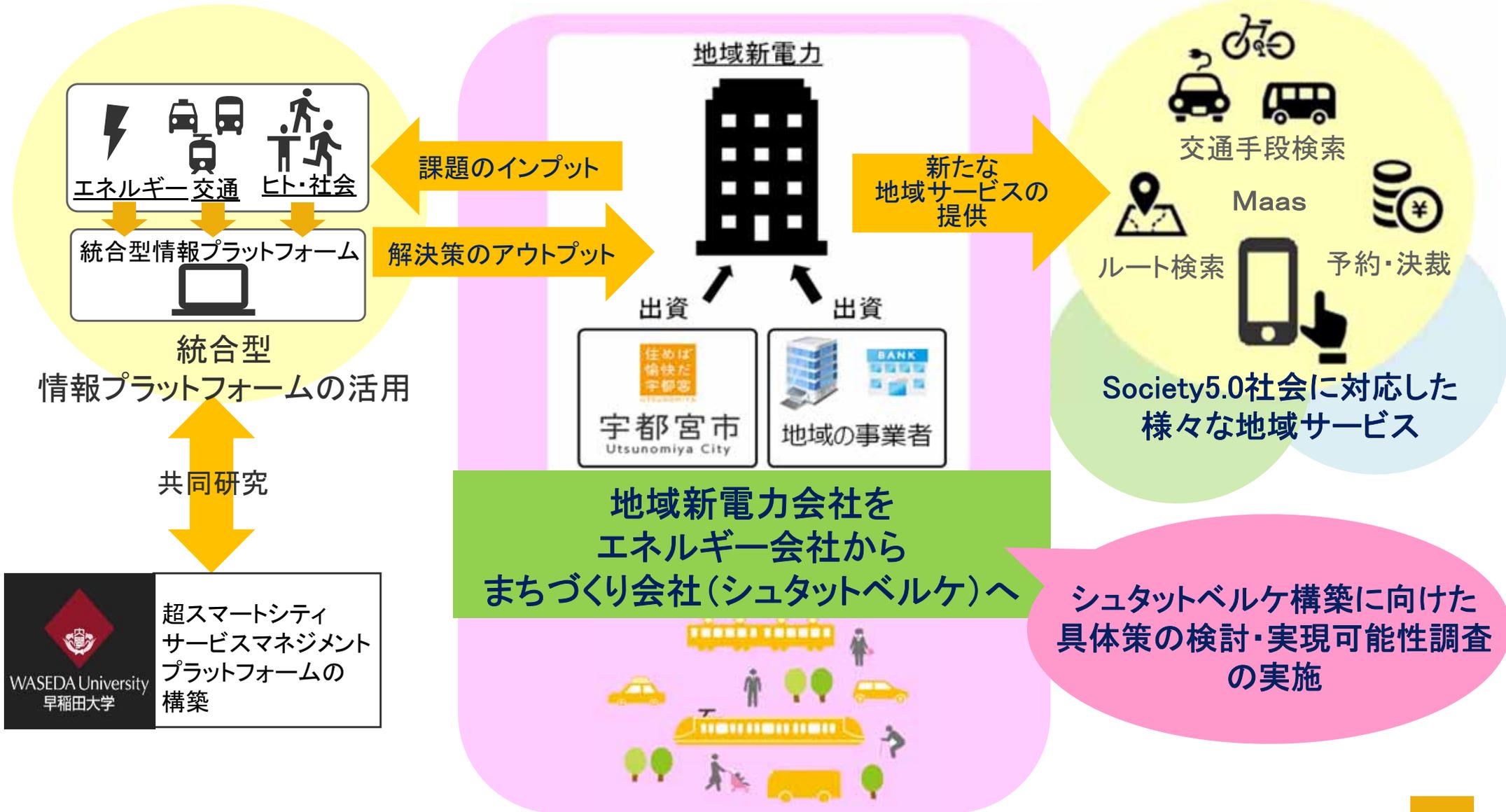


- ◇市民の自律的なSDGsの取組拡大
- ◇行政に依存しない主体的・自律的な活動の実現

4 Society5.0社会対応型シュタットベルケの構築

(1) 取組概要

- 統合型情報プラットフォームのシステム・インフラを活用し、新たに設立する地域新電力会社をエネルギー会社からまちづくり会社へ発展。経済，社会，環境をつなぐ新しい地域サービスの創出を目指す。



 WASEDA University
早稲田大学

超スマートシティ
サービスマネジメント
プラットフォームの
構築

4 Society5.0社会対応型シュタットベルケの構築 (2) 相乗効果

【経済⇒環境】

- ・環境配慮型の製品や環境ビジネスの増加

【社会⇒経済】

- ・地域新電力会社の収益を活用した
公共交通の充実化

12 つくる責任
つかう責任



11 住み続けられる
まちづくりを



新たに創出される価値

- ・温室効果ガス排出量の削減
- ・市内事業者の企業価値の向上
- ・地域の新たなブランド(LRTのゼロカーボン化など)の創出
- ・消費行動の増加



UTSUNOMIYA
LRTからはじめる、次の暮らし

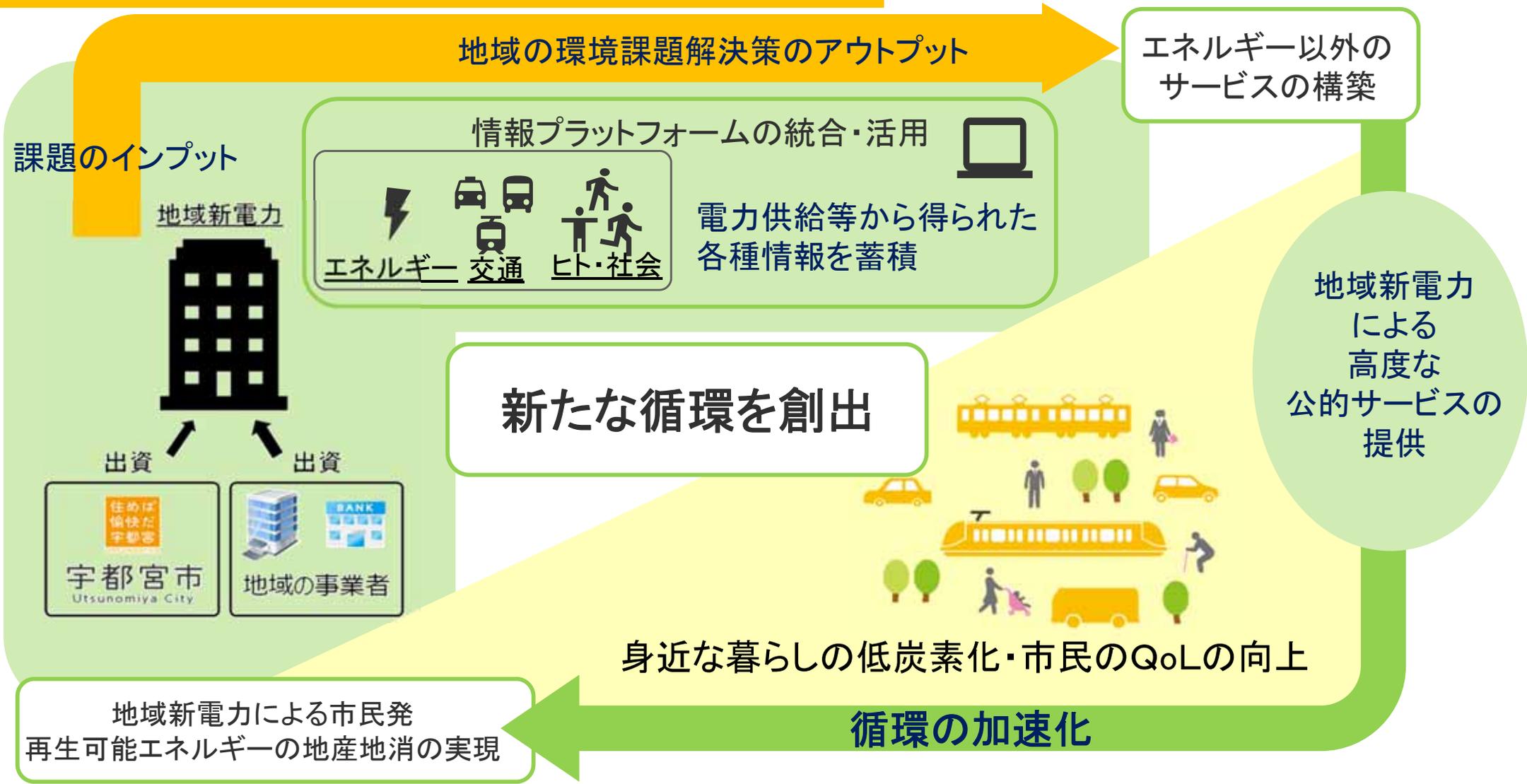
WHAT'S LRT LIGHT RAIL TRANSIT

次世代型路面電車システムLRTとは

LRTは、従来の路面電車と違い、
高いデザイン性を備え、
騒音や振動が少なく、快適な乗り心地など
人と環境にやさしい乗り物です。



4 Society5.0社会対応型シュタットベルケの構築 (3) 自律的好循環



◇地域新電力を軸とした新たな循環の創出
◇電力事業に依存しない自立性の高い事業体



宇都宮市は、SDGs未来都市に相応しい



「SDGsに貢献する持続可能な“うごく”都市・うつのみやの構築」

に取り組んでまいります